



東京部会(第 112 回)

日 時:	2019 年 10 月 17 日 (木) 19:00-21:15
場 所:	慶応義塾大学三田キャンパス研究棟 446 号会議室
参加者:	[順不同・敬称略] 篠原、加藤、鈴木、塙、金子、杉田、込山、中原、藤巻、新井の10名

- 1 鈴木深氏(東京証券取引所)より報告があった。
  - ・12月30日(大納会の日)に開催される当省主催の冬休み経済セミナーの案内があった。
  - ・来夏の夏休み経済教室の大阪会場が大阪取引所セミナー室になることが報告された。
  
- 2 12月の拡大東京部会の在り方に関して検討が行われた。
  - ・「先生のための冬の経済教室」という形で広く参加者を呼びかけるイベントとすることになった。内容は以下の通りで、出席者など詳細は10月中に詰めてゆくことになった。
  - ・実施日は、12月26日(木)13時00分から17時00分。会場は、慶應義塾大学三田キャンパス東館会議室。
  - ・テーマは、「新テストが要請する中高の授業改善」ということで、これまでネットワークが取り組んできた授業改善に焦点をあわせて、それをさらに深掘りする教室とする。
  - ・新テスト関係者からの報告(適任者にあたる)、それを受けての中学からの報告(大阪部会から李先生)、高校からの実践報告(東京部会から杉浦、金子先生)、参加者による討議で構成する。
  - ・企画検討のなかで、部会参加者の授業改善の様子や新テストに対する現場の実態などの情報交換が行われた。
  
- 3 部会報告などの情報提供があった。
  - ・篠原代表より大阪部会の報告があった。
  - ・杉田孝之先生(千葉県立津田沼高校)より札幌部会の報告があった。3月21日に冬の経済教室を開催すること。テーマとして人口減少問題を取り上げたいとの希望があることが紹介された。
  - ・新企画として行われる「経済学寺子屋」の案内があった。部会関係者を中心に少人数対象に教えるための経済学の講義を篠原代表が行うという企画である。第1回は10月26日(土)に実施予定。
  
- 4 実践報告
  - (1) 塙枝里子先生(都立農業高校)より実践報告があった。
    - ・1年生「現代社会」での市場の失敗の3時間配当の1時間を使った公共財に関する授業である。
    - ・最初に囚人のジレンマのじゃんけんゲームを行わせ、それをうけて、公共財のシミュレーションゲーム(農村での用水路の修繕整備費用を出すか出さないかの意思決定ゲーム)を行わせて、フリーライダー出現の可能性とそれにどう対処するかを考えるかをねらいとする授業である。
    - ・生徒は、じゃんけんゲームを歓迎し、公共財ゲームもしっかり取り組んでいた。しかし、フリーライダー出現に対応して、公共財・サービスの政府による供給には向かわずに、精神論に傾斜する生徒がでることが課題であると報告された。
    - ・検討では、経済学での人間観の問題と授業モデルの関係、生徒や学生のフリーライダー的行動傾向の実態などが話題になった。また、塙実践のモデルは有効性高いが、モデルを使う場合は、どの場面でどう使えるかという条件を考える事、モデルの前提条件を確認することが大切であることが篠原代表から指摘があった。



(2) 新井から資料提供があった。

- ・非常勤で出講している筑波大学附属高での授業プリント二種が紹介された。一つは、18年度新テストの試行問題「現代社会」で出題された、アダム＝スミス『国富論』の問題で、高校生が訳したとされている部分を英文の原文で読ませて、問題を解かせるという内容である。
- ・もう一つは、生徒に「経済で不思議だ、わからないと思うもの」をあげさせて、それに新井が回答したプリントである。経済人をなぜ考えるのかなど、かなり本質的な質問もあり、教える側の力量が試される内容である。
- ・二人の報告に関連して、篠原代表が、経済学寺子屋での講義内容の一部、経済学の基本的な考え方及び、三面等価の式から日本の賃金が上がらない理由を解説された。

#### 5 その他報告

- ・1月の沖縄での経済教室のチラシが配布された。
- ・HPのリニューアル状況が報告された。

#### 6 今回の部会

- ・平日夜ということで参加者は多くはなかったが、行事の検討や実践報告のなかでの質疑、レクチャーなど密度の濃い部会となった。

記録・文責:新井

次回の開催予定、2019年11月14日(木)19:00～21:00、会場は慶應義塾大学三田キャンパス内会議室。  
12月26日(木)午後に経済教室を開催。2020年1月30日(木)、3月13日(金)は通常の東京部会開催予定。